

2023年6月27日

次期導入予定の新型エンジン搭載車両の 国内テスト走行を鈴鹿大会より開始

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権シリーズへ格別のご高配を賜り、改めて御礼申し上げます。

シリーズを運営しております一般社団法人 SFL アソシエーションでは、この度旧 F3 時代から引き継がれてきた現行エンジンに代わる、よりサスティナブルでローコストなワンメイクエンジンを目指し、かねてより開発が続けられておりました全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権用新型エンジンの、国内での走行テストを今週末の鈴鹿大会より開始させていただき運びとなりました。

この度、国内での走行を開始するエンジン（型式 TGE33）は、TOYOTA GR ヤリスに搭載されております 1.6ℓ 直列 3 気筒ターボ G16E-GTS エンジンをベースに株式会社トムスにて開発、現行エンジンを大きく上回る 280ps（予定）を発揮するもので、新エンジン用にモディファイされた車両に搭載され、6月20～21日にイタリアのオートドロモ・ディ・モデナにて、今季シリーズにてポイントリーダーである木村偉織選手（B-MAX RACING TEAM）の手により無事シェイクダウンを終了。そのまま国内に輸送され、いよいよ国内での開発テストがスタートいたします。



一般社団法人 SFL アソシエーション

〒103-002 東京都中央区日本橋室町 1-2-6 日本橋大栄ビル 7 階 TEL : 03-6281-6030 FAX : 03-6281-6031

ひと足早く、イタリアにてこの新エンジンをシェイクダウンした木村選手は「まずは、大きなトラブルもなく無事に初走行を終えられたこと、ダラーラとトムスの方々に感謝いたします。現行の NA からターボになるということで、レスポンスの面など不安でしたが、終始違和感なく 2 日間ドライブできました。現行エンジンよりもパワーがあるので、今の SFL マシンの優れた空力をさらに限界まで引き出せるというか、空力とパワーのバランスが今以上に取れているという印象です。まだまだこれから熟成が進められると思いますが、マシンの動きが大きく損なわれるようなこともなく、今後が楽しみなパッケージになっていると思います」と新エンジンのファーストインプレッションを語っています。



この新エンジンを搭載した車両は、今後の各大会の専有走行等でマイレージおよび熟成を重ねつつ、近い将来のシリーズ導入を目指してまいります。引き続き、全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権へのご支援・ご声援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具

※ 本リリースに関してのお問い合わせは、下記 SFLA 事務局：
田口 (Mobile: 090-6904-4589 Mail: taguchi@superformula-lights.com) まで

一般社団法人 SFL アソシエーション

〒103-002 東京都中央区日本橋室町 1-2-6 日本橋大栄ビル 7 階 TEL : 03-6281-6030 FAX : 03-6281-6031